九日の財際式をもつて齎りなく 【東京電話】第八十二院時間密は

したが、天皇陛下には同日午

しく卵立無線を仰付けられ、一同せられ、御極勢の思名をもつて親

って、この一事を以てしても今次

會明備か三日間に過ぎなかつた一部は正に完璧戦権の形にあり、略一隆米英で完隆なきまでに叩きのめ

資衆研院事務局高等官などを召古 理大臣秘语官、各國務大臣秘書官 员、各省次官、內閣協問官、內閣都院、政府委

歌會に際し、十九日午後祭時半よ

増充方策を決定した、この施策に

深刻音烈なる戦闘の現段階を説明

の目標なく闘魂既に我に吞まれば

に開明した、先づ

ある。「帰しながら自虚以外に「職害」「國民は今次職自がその時を得て行」く成力化せんとするものである。」「問ち根第工場は一般時下國民の幾低

決戦臨時議會を顧みて

[上]

『この機に既み敵米英の中に秘

う、 首相の演説は正しく家のこの呼鳴する米英に何疑のことがあら

この點を啐喧に示して 氏の生産増强に對する質問に對し はれた軍大意義に根到せねばなら

「今日の勝利なくして明日の勝

利なし故に長期計量に多少の映一今回の企業整備の一般的は第一種

いかに膨脹せる職時財政とはい

第一種の消極的に對し積極的整備

感激であり、半島食植物酸計班に

五百萬民衆の撃害克服に到する 重任國民の双肩へ

對する中央の非常なる期待を見逃

すどは出來なかつた、とまれ合語

既に附せられない。 企 楽盛 へ、この物質の質行は決して等 らに物質力にのみば存して反攻を一点。鈴木企登院緘黙は中島獺磯次一

労務助員生産販売の諸計数に盛り

生活を維持するためのもの、

政演説に於いて大東亞の食糧器給

工場は軍需工場の朝活用、保存工

避を反映して殺菌半国は從來に見

こまれてゐることが岸既相によう

苦脳を咽吸し一原認進軍を以て取

おける食精確保を主軸とする食材

東條首相の厥院における施政演説

我施策中外に闡明

は個々四十分に買り我決取諸施策

勞午餐會

畏し國務大臣 以下に賜謁

が願い限りであった、本職一應して共同の徽米英樫描に邁進せ 一部の質を集げられたこと」の表刊をきすく、先にし東西作所

てやまない次第である に全力を傾倒せられんことを随つ 魄とをもつて頭朝不開の底力を減

相をはじめ各國勢大臣、剛田紫麓の前十一時五十分宮中正殿に東條首

した

は思名のほどに恐懼、宮中を逃下

操行した。一瞬の原源をも許さ

東條首相のなせる施政演説は新

反映して『米英酸猫一酸放魔池 またこれに呼吸して、よく変物 固たる決意を披護すれば、

あるに置み、衆職院の如きよく

こゝに完成したことである。

時的使命を痛感するものである

各特別會計十四億三千萬圓、 ひながら一般強計六億二千萬四

思ふが改て今後の無料質行に俗

確保の上に寄興すべき朝鮮の歌 今更ながら取力増强と國民生活 照されつくある。われらはこの

の質行である。追加豫算とはい

に対する政府の周到なる開策は の成されるといふことも一度は インフレが生じ、浮動購買力が ない。更に後算の實行に皆って

食糧の地産確保が聖職遂行上の重

食糧も重點産業へ

めの決蔵職會は終了した。今後

何はともあれ、威力増强のた

て重要なる問題であり、

Es get

となって現はれるなど

職會のあとを組みるに、関頭

条外國 脈白樹製 約脳に政府提 の本領を遺憾なく競型し、一般 日間の音弾に振らず、登場開脳 **芝卵八十二酸時識音は僅かに三** 部相の劇別的施政演説に始まっ

ものである。

・のとなり、政府これが確立に出

決定を通じて窓々强固不拔のも

並にこれに必要なる追加豫算案

また然り。特に朝鮮にとって生

位と頃命は議密を通じて益々加 る。しかも貸間基地としての地 年島あげて食糧増産に施起であ ら、朝鮮にとっては他に盟領す

解、食糧塩産職保の二聚金原販

政府提出の八法律案は企業監

計及び、各特別會計造加強質

品せる結果にほかならず、こく

の政際快速なる智識に決職議會

大東面質図ともいふべき東係

関策の 基礎を 樹立したことは に駆って認始は敵なる態度を以

特望裡に潜々として具現されつ

せる歴史的語言とすいふべきで

際京んとする一般の総章を結集和に 今職會こそは 駅然決威に

政府また。これに関して、虚心出 ろなく、しかも質すべきは質し 傾重なる密議を重ねて除すとこ

> 心なる答案によって耳路跳され 命が政務機監以下政府委員の熱

しの態度に出で、稀に見る快温 の職所並行が見られたことは

> 名を恥かしめざるやう一段の旁 ある施策に協力して設質朝鮮の べきであり、嬰民またこの統制 と確保に積極的管理指導を行ふ 用よろしきを得て、食糧の増産

質行は蹴じて生盛しきことでは 議なき問題であらうが、これが また風時の名において、何等器 飛行しき情味を描いたのである

つあることを知り、極めて力強

動の經綸が大東亞十個の民族の

決戦議會幕を閉づ

の燃え上る力がそのまゝ議場

起することを確信するものである

揮し政府と相携へ一路成力の治臓

に織かうと全國民戦を決して起わ

上った伽殿下第八十一回臨時議會

に前題すべき企製整備脳に半路に

大東亜諸國家、諸民族は必ずやさ 白にせられるに至ったのである。 に関する具態的方策はいよいよ明 が國策は中外に闡明せられ、これ 留を通じて路域の大理域に基くわ

期する所符であるが、國民各位も 上とも迅速果敢なる行政の運営を

旺成なる土氣戦弱なる気

左の如き首相談語を強聚した一つ腐時暖窗の閉窗に際レ十九日

敵撃推へ

路邁進

閉會に際し首相談を發表

平安は魔追撃を取へるとともに、一般して一時北方山岳地帯に道法し

スホーク版画機との大きさの比較を示す」

(英紙より)

コムマンド軍隊輸送機

トツブを切って精戦に短観維を会望したが政府は新たに繊維音線の

は震闘六千三百萬貨に蜀し二千五

主原得とするものである。しかし

する状況におり、それも削減分を

したことによっても明かである。 百萬竇を短繊維化することに決定 廻してゐたものを本年度において 既酸のうち一千五百萬酸をされに

一流として数系の重要性は頓に加

維の重要性は政府が從來遊離七千一朝鮮においては本年漸く以洋跋於一株能に絹毛生系の鎌腹は今後必至

政府、新たに物動物資に指定

んことを捌するものである、政府

央は半島に期待

內外地一環食糧政策强力に展開

全地へた。前4分目この時が勝利 第二種(長着)第三項(第二翼系)と述べた。前4分目この時が勝利 四価(既治)の四部門に建りそのの職間であることに我等は眺めて、方法も第一種におっては屋棚の後ので主戦をなすことに我等は眺めて、方法も第一種におっては屋棚の後のである。

旧可點を置く必要がある。

第11種(兵器)第三冊(雜工業)第

民間移動は凡ぞ十億回と傾定さ

民本府稅關應查官 (八) 命羅

泂合

津 良 元

(鐵維、食料品、金屬、化學等)

金ものである、即ち今次企業整備も固よりこの勘に置かれ

が政府も適合も文字通り「億宝」に米英の死命を続けて反政に対称して1 ・大兵を取り入して、日野 のであるが、それに対し続は物資、明した に十三時間億りの散闘に終始し のであるが、それに対し続は物資、明した こととに関め、のでいるが、とれに対し続は物資、明した

酸を基底とする融力の消費を具現

|空間の回廊| 無臓を

百廿七師、第四十一年第百廿二屆

師一個盛に對し徹底的猛攻を加へ

の敵百廿七師五千と激烈たる戦闘上、郷城北西世五千巳附近に進出

一方とれに呼吸して北側高地に

キロ」で完全に緊催した。わが猛 を交へこれを双合店(仁和店北方 西側高地の瞰地による敵第百廿一 知した 限城方面のわか〇〇部隊は に鑑動を試みたが巡早くこれを察し

日朝天王寺(京山東北十四キロ)

打戦を既へ、ついで現に六日仁和 伏せる約五千の敵を捕捉、徹底に

さる! 日夜應城北方附近

し第廿二集団年電下第四十五里

はわが進攻を側面的に歌場せんと 【漢口十九日同盟】一今次要季進攻 を何ずるものである。

應城附近の

頑敵擊破

題之他の1歲公四、北鐵三日

を骨子とする果臓なる新政策を変地域原住民の政治参照の許興など

じて米英を略据、大阪完選の一路

さらに大東亜圏内の各関各民族

比葛に對する獨立理解、タイ國に

力をつくして、成力的過を遊成し酸

條約の眩話に関する変数が開始を

るにあり、第一の企業整備は

對する年内の獨立許與、南方軍政

政府自ら一個同胞の戦所にたち

増産は既往において外地に依存し力化を造成するため、第二の食糧

俗語」第八十二〇〇日記音は

内外の重要諸施策

風蛇をして 各その忘を 得せしめ に著々として大東亞の天地に息

質に打ち倒てられるべく政府が



期待される具體措置

が、この帯國政府の力弱き交接の 刀をインドより顕逐し、黄の蝎立 本十つHo戦ののがとる米英の蜿・リョール西北方地區の癜ソ変防駅中はインド民衆の喉だる米英の峡・リョール西北方地區の癜火変防駅は立しめずにはおかない、東條部【ストツクホルム十八日同盟】オ 【ストツクホルム十八日同盟】オーるが、ここー 三日を押し費店(應城南西廿二キ わが方の反戦を知るやまた

西北方地區

を野取した蜀軍は逐次猛攻艦を開

管論界に持ち上り、英國首相

し直接統率の権限をンレック將軍は滅作

エミョーンスクの地點を結ぶ級に 始、特にムツエンスク西北方地區

配局が衝突版大阪向にある事質を オン・ハンマー大佐も

指摘、來るべき慶季決戰と結び付 けて同方面における威闘の意義を 強闘してゐる

なる実践際が英語してあるといは をボース氏がいよく 祖國に近、亡命地ドイツより東京に来り東係と、『魔堂』を、『歌歌』十二変から 活潑な即忠郷立頭動を行ってゐ 者・デャンドラ・ボース氏がすでにな、『魔堂

獨軍の猛攻續 た、現在までに判明せる威果は れるが、ラーリニヤ來電によれば でらに米麗淡歐一隻が合流したと シントン領域に際し、英國政府が「リスポン十八日同盟」過酸のワ マーチルは大電になって険難に 令部を新設

興論の緩和策

りは公店(既山南方四十五キロ)

和店の三方面より一番に行動を

心とする 包密網を完成し 歌百廿四次、十四日午後六時仁和店を中

び深更の公報で『愛軍の頭題を挑 るといなれ、D・N・B記者エ 報じてゐるが、赤軍司令部はモス ら取局の推移を狭刻に焦慮してゐ して西岸の福頭堡を確保した。 努めたが、以上の非難に應ずるた 展開を期待 チ・ボース氏來朝の波紋

の記士チャンドラ・ボース氏が微 【ベルリシ十九日同盟】印度獨立

反樞軸艦隊ジ港に集結一され、流石のドイツ國民もボース 一概いてある。 然として日本に現はれたとの報道

松木

俠

マライ

【昭南十九日同盟】十六日の東條 の感激倍加を住印度民衆

勝っためた

体力を惹う

區木鹼太郎領土逝去以來嶼以 ってゐた整臓の補充ならびに

服みよくて胃膓を害せ 腥臭なく而もビタ

ミン単位が適正不變

小倉正恒氏一行渡

處願 大器を版 ピタミン

療の原理 ◆金村寨男氏(金北知事)事故 合世のだめ十八日入城、前館 合世のだめ十八日入城、前館 本府縣道局事務官本府縣道局事務官本府縣道局事務官 蒙里忠 般 太 湖 湖 P 男性感活ホル 肩疲活 老年期の 大田 耳倦 滅 乞 霏 初製丸

肺病治

不能年北班等 歷朝之助 一年,任本的計技師(七)命年北班前 一年,秀彦 一年期鐵額立勝原醫官(五)命全北 在廟 《任期館與立備院機管(六)命: 《七期館與立備院機管(六)命: 本府即静風被数論 大河为 弧一苯府惠贾局技師(七) 髄

膓 豫治

防

疾 療 思 にって

夏雨發表元 整於 种戸衛生實驗所。 - 小双双流 卷式 武田長兵衛閥店

殿男

座銀 京東

堂生質

雅 海 樂

ンセ七十五・ンセ三十二

噛むこと

總督府辭令(十日附

辨

虚弱兒 姙婦 療養に 農林省水產試驗場創製

・デーは特殊水産動物の肝臓を特許の全真空工 程に依り天然組織のまゝ薬剤化した唯一の乳衣錠 にして、消化吸收良好なるため婦人子供にも服み **被けることが出來ます。而も含有せるビタミン單** 位が極めて正確なる點も厚き信頼を得てわます 水產化學類選

であり、また従來道を通じて開格し毎月の帰給計量を開立するもの

政治節烈な現下の原間は信仰処理

情をつかみ得ないので東域問題でな好に開発者料がなくて、その質 金融跃況については、宗龙金般的「京城府内における中小商工業者の、

在のほぼはいいやこれに協職する路・

離師配属強備試験合格者を十八日

本六月施行の賢師、臨科醫師、柴

試驗台格者 醫訓、藥劑師

戦増盛には努力不足が有 力な歐路となってゐるこ

策打合會黑鉛增產對

提付E與事▲問在部長切

日午前十時から船側側近たる郷郷、均高を鑑うて阪ロした。

長期より短期多し

中小企業の金融實態

に査定度施されてゐるほか他は大

を練る模様である、これが公定近く京城に関係音参集、具御家近く京城に関係音参集、具御家

(4) 同木村光原、同山本斗縣 南道松原秀波、平安北道伊藤 全種閉道西原正與、慶尚北道 阿邦浩、平安北道林昌虎、破 阿邦浩、平安北道林昌虎、破 阿邦浩、平安北道林昌虎、破

道田村長仁、陸向北道朝阿茂、「拓記穀席動務となった、瀬関師豫備意味合格者・平安北」なほ別並した師理事件

備高級合格者 恩尚

農村にて

(3)

■ケ所について十七年九月数日別 ・本郎を称する工際者文は白戦子七 白戦時論においては日数の二郷三 ・本郎を称する工際者文は白戦子七 白戦の三郷八分金派の三郷に造し

洋紙需給に即應

振興の参照社長以下五氏、 原理点官経武市少広、題程時間 振興の表別社事務官以下五氏、 超別 振興では対式市少広、題程時間

御助などの非然質的なものも相信で関ってゐることは葉者にとってからから、例は逐級や家は「ほど山尾辺の江戸であるが、國立大部分を持ち、明は逐級や家は「ほど山尾辺の江戸であるが、國

相當高率である相當高率である

ネ總會

投資も絶對決戰型で!

里慶の朋場が

大本会陸軍報道部長大本会陸軍報道部長

への叛

敵の謀略を破摧する

陸軍部 秋

中

資で財金存分に設備させませる。 電機の治児に幽へ縁家が設求する 信一 北道 柳東城一岡山脇小町

八夫賃の公定

合港運會社間で協議

東邦織、柴田の四位が出席定汲度県省側として東沿、野崎

配給統制要綱を改正

一る华品に跳せられた世粉は極めて

されが緊急地震方を要認、これが鉛部鉛鉄湖の頂大作を単直に述べ

皇民としての鋏磨

寺願寺、師通、歴川等の河後して日本海に追流する黙

そして順産の質をおければ順だと

さだくしこ」の働きぶりに比べた

聖録をふるふ半島青年の意気

を照化することくなり详紙生産 哲心では鮮内洋級の自給自足の

陣谷決る













特殊の社といふ

定機関として制質を持つが、

を認山持つてある私法人であ 『結婚といふのな公益的に四 殊自能が利潤を削握とした世 翼に弘設してゐるのに反して

本春舞館の生産努力目標|出荷の松陰については高尾知事以 下道幹部が傾頭に立つて激励した

して共出り 区動と 階超となって んがみ 各地の出荷 皆関 はこの出列 不振にか 二

恋の東賓を楽した闘十九日財際法人朝鮮新庭豊高宮商長短郎では十八日同郡職院出臣任教館八千三日闘を突破締後拘 機供出じ全部官民部協力の下低詞をおけてゐた京畿道安城

は秋城に帰ってこれが劉策に極心

安城郡責任數學破

山 「総線地を開業して自作楽田を観覧、楽田の山川的協議」、楽田の山川的協議を行って 地位にある金泉部は、数年前から 殿北道内における鷺類の中層的 金泉

b融減し、七千四百枚に止めて買

別何は、朝鮮における職糸業の助 福田特派員記

北の卷

と、難見御法による収削減少のた

に重大な感響を聴へるものとし の首位を占むる本道郷土の経験

を告げ、貧政部や共二川列数日具常気象 のため縁信不振

が多いことで、各製株工場や共な加象としては一般的に関密調

· [] 烟增全进国端。

表消費の旺盛さ乏反映するもので、本年度の供出国標を登成すせ、この自家消費の防止・この自家消費の防止・当年の供出国標を登成すせ、

早魃征服肥える桑

目標額達成に自家消費の防

競貨は強作の野で聞かずに上級し 適順であったので器蔵の

る腑の質は卑認の迷鑁を受けて精

植付は順調に行ってゐ

てゐたとは言へません、自分たち

朝鮮に現存してゐる住宅 い副編であみ出したのである

て良いのである、館で然間の

産業物質の開整圏といひ、

即へたが、他方石製光製和の

で初めて知りました――。昼質の まだ鹹く力が残つてゐたのをこゝ

ミスト



らす大絶讃に堂

々公演中!

あの山越えて金五景

圓六〇銭均一







三成リカ記族が、失効数シ級ニ付託度会長の三穀シ羽日迄三球八頭ク目不球八珠奈ノ提出失 効 公 告

方小 賣店 募集

腹紫圆、三番 **攻** 支 店

製造元 京城が北上山道リー・一八段、日夕・公人 ● 一風四一道 一貫免疫人 ● 一風四一 朝鮮、煌草與業株式、會社 京 城 支 店出光興産株式曾社

〇確かな効めく、戦時下の家庭園藝に、 虫驅除劑を提供致します 煙草微粉を主成分とした 理想的害

にて特別販買 各百貨店マーケット 各百貨店マーケット

楽・銭拾四窓

大次の影響を

公定價一斤

の凝集報國青年際が

西小門町四一 電光③1960

疏菜種子卸小賣

の問題の群で大声の幕を切って落しず、銃後の銃刑を握るものはわれ

鳥取縣下御巡歷

「別午前八時小山本組忠南支島長」めた版十落の顔には難と戦気が決

の火盌は切られた、武蔵に身を囲 り、かくて同八時五十分一般必中村大田原野からそれら、総解がお

△街路」公園、社時開閣、即初内

して山木忠南知事、金村金北知事。

(代讀) 八孝金南知事 (代顧) 北

「局収包站」類本言が、李健公地一所を何巡脳、とくに決覧下銃後婦

李鍵公兩妃殿下

かねて勝工智園はの冷臓事件を摘し等の数点となり、小金、本郷「保原配調」東京地方機・中心では「長崎影響」、ご同名工物質質質質

官吏瀆職事件

し新城記事競止を除除したが、 明されたので十九日午後五時を切り 性の全部は大災次の如き場域に

拠版を独止、松城部長指揮の下に機夫る昭和十五年五月一切の配事

人の活動状況を見ざに御融祭。まは

遺言の献金

礁線を撃しむきにかてて子供一人「長本郷祭犬(F)阿衛短鱗原撃延郎、歴定が赚へ名れ、同所の無限に廻・近親/者が/寄託 │職小金護財(c)阿衛物質原総一部 / 分の鞭牨を縁続し、何れも私娘の

べを進めた誤果、間工名機能局及

本部長、長谷川強穀類小係で懺取 部馬を山戦、蜀山攻脈節取の躍で

釈理中の隣このほど開係者の大部

経って蝦蓋士

は自然の勢いとして飛むは島む一

私たちの生活にだって不深のもの

代した。これに生態機が資金三百一ところで風は、國苗と一口にを終れ郷に近い三百八十五版四符一であることになるではないが

ところで説は、國首と一口にい一く生きてゆけるのである、金が高しは登録國籍と孫らざるものとに分

そのうち 図似について いふなら と『山谷』との一種類に分たれる

> される比較的類面の大きいもので 一般質問しにも二種類ある、その

その他が郵便局の窓口から一般大

り捌かれるのである、これ

比較的以ひやすくするため際国 小刻みにしてある、闘ち買って

(組)のよれ配数となる、 歴労は (航型) り上げ金は大観省国金部において

ち 7二回』の豆に粉をさへ殴与

はなからうか、まつ底がは国域は

とはかうした製領でまつ行はれて了か、そして登録を製しないものが一般に買り出されるのである

銀行が買り出すもので 観行が買り出すもので

一世紀や國はが國時軍事とつまり取一

数を崩ふために設行されるもので

の消化高が少いのにも連由がない

争が、関係でも

貯蓄は戦争する

こゆく、政府にか、る職節が政部なれば職役は遠に裁敗的に増大し

党金をとり立て、職党を囲へはい、

高國が支那大陸に帰職の軍を進めない、國家司政とても同じなのだ

お恥しい牛島の國債消化力

始として廿五四、五十四、百四、

五百回、千回の五種類、また口

國山を買って銀行に消けようなど

けられ頃に登録図版は甲、乙の一

る、利廻りを考へるといづれ

てゐるのである。「他们」こそは 易には紫御帝公の出来る道を跡じ も同様大総省資金部においてまと 柳葉銀行が國际を買ふ、民国財命 銀行から買り出され買上金を以て

認が乏しいし實際問題として関係 といふことは矢張り弱へ難いので ったら土地を以なうとは彩へても

に到する馴染が薄いのである。

らく非常手段がとられるのに遊び

が被服がどん ~ 前級に違られて 四東 単版製造へ変優した、兵器が 寮田 土工 てからこゝに六年、縣職は既に大

場で開催された、郷軍、魏健の射大會についで十九日大田能験射験

二水曜日を摩生日と定め后内電下数であると今級京畿道では毎月第 決蔵下國民保健の増州が販品の要

の支柱とたのむ夫に死別、以來二

母の謎りを腕一はいに銃後都然に

い人の前に例士の母は感激の源。 の中にひたすら再起罷公を国指 して保護してゐる

人の採兒の成長を唯一の類しみに

はいま価値修飲服中母で勉良中を記を受け履いを次男の長生担合し 君を御國に献げた、そして兄の込むとは今次大東部戦争に長男の哲郎

大正公園内の体制系指を守つて深

い、十松日の土街入りを終へた年間時でも深い』の氣梅へは思れな

き立つ相撲が気の中にも『敵機よ

・賄した

中山兵間と戦する記事がとりも これは去月廿九日附本紙夕刊協記 厚生日を設定

はかり学島関係関の機能を動する はかり学島関係関の機能を動する

忠魂の母

本紙が

が持つ佳話二

思想晋及策

お野穴丸原蔵のことは対し、 動物のであるない。 解利が強水と輝くのであるが、単面は四直なる人的資 と発表され、解利が強水と輝くのであるが、単面は四直なる人的資 とであるない。 とのでは、単面は四直なる人的資 とであるが、単面は四直なる人的資 とであるが、単面は四直なる人的資 とであるが、単面は四直なる人的資 とであるが、単面は四直なる人的資 とであるが、単面は四直なる人的資 とであるが、単面は四直なる人的資 決戦する職場 学島遊休層を活用 先づ躾から 訓練始め

具現への識而と、決威監部下、国域する就後の衝形な人的資威を最 示した、脳力敏度では田中窓底が、半局の京原年に対する内臓一世路、育社、銀行などで仙場的に置ふやつ』と開い方面に影響方を指 社主催 光州地方射擊大會 統領る関し、

銃弦、その一般々々一長簡見大佐の武酔、原城脈関長の 制示(耐水中佐代函)があって次 して成土道の土氣な猟が上にも節

せるには、頭尾の精神的に続いよる難の完成と頭の精神作動が元決しに思めて、二年永平事業為でし、一部の上海子名城市、少肚和常の外、現在現外の際にある。一向中間年を覚醒をはじめての他の暗論に載か「まころ表神に正かん」の決意を購入り、成者にもに図索なるものを試 此写が職場に辿りあがつて職を挙伝に使けず

いで、近く思復出身示就戦者の暴成訓練を埋めること」した、これ、既治が勢跳ばてはじめ各関係方面の協力を即 に先立って帰盟は、このほど中山企主器及を観測に派遣して凝洲國

築け鐵桶の防諜

を打倒て、猛人跳到化する殴の殴 が二千五百四はこの思想殿に防襲 ○ 頂は成る可く具似年に示す(3) 何を行か、出版物、映す、説謝、た、質は成る可く具似年に示す(3) 何を行か、出版物、映す、説謝、た、智・登・並 ないの影響を「中で、またメ、、立時版、熱速に対しては特に観音観悠に 用・ひてその観音機能を抑する。 は、特に閲覧 一般でいるがは、特に閲覧・る語語・語語を行った。 は、特に閲覧・る語語・語語を行った。 は、特に閲覧・る語語・語語を行った。 は、特に閲覧・る語語・語語を行った。 は、特に閲覧・る語語・語語を行った。 は、特に閲覧・る語語・語語を行った。 とと四項目に対象が表す。 など四項目に対象が表す。 できるの原稿・標面をとさを整合数でなると四項目に互ぶ方針の下に

ませつ。全取入れて國民防謀囚 はの派官数語で関み防設に努め のにの派官数語で関み防設に努め の

従に示す(3) 曾を行び、出版物、郷す、脳郷・ない「最大業に 熟悉店、幼園、飯屋は、またなど 郷をおり、またなど 郷でいる ラ、ポスター、立治郷、勝連線を と

警防盥の鑑

强化週

た、この題しい語に感激した佐野

死の腹路に關ぐにも抑らず、すべ 連を示したもので、

製山欧洲際ほって

って

っと

いいに

いいに<br

うことことで別別ありへの必続。
登記式に出席火を吐く猛猟線を行

年のくいちてし止まむが新神を潤海町特別忠誠、兵師変裂は、半島宮

熱烈血書志願 海軍へ沸る意気

同金村男男君で心の血根生々しい

か上にも聞家らせ、相次で配当記

外交官に採用語の物で

が、蝦雄町野部直路登院主なりい、ひは合管見込のもののなかから人類などに早齢の赤線を示してある。管では今回行政科試験合格者ある

のチェさんからの喰りは千萬人の

死の健康を見て以來一般と真娯味

四時から岩草園場で関係製作の メラマン、劉版錦跡記者、詩人号 別試制日至一行、交人、 洪家、 为

| 上病| 切作虫刺傷

つ熱戦大相撲

窓で報りべくは出郷が終し個日間のでは、「個日」院後に記載士の古がした

既な中の新針液で すから間に測を戻 く、光深ある程品 で

濁酒の特配

祭出長の政策と言き制造株式的社

裁たる皇軍指兵の勇殿の隣に総役が大安深、威嚇と威威を土俄と破監 √京城場所<第二日目十九日は早 聞にいつばいに歌らせて大相撲 後三時半倉茂田穀追部長入場して 泛方に向ひ必続を 断念して

・ 概要生活は土の土質を振聞してゐ ・ 五日までの一ケ月間を開出に特献

ZVI ZXX

名がけふも近手に迎へられ東極い 置の一般、笠岩黒柱省りに危く中人後は大和撲記出、顧田、笠

大同金属的台名師的財命は翻計四

T/X

神前好金好績

自三十年八十銭人は自七名でこれ

積振は至今後大いに試験してほし

のものを設行出来ない、そして

京づ國債は五回や十段の小額固 こおいて銀行するものに割物金一神一望一な一 る図家の名

な総路を辿って軍事強になるので あることは分るのだが、ではどん

の人間の機能を巧みに握んで伝

いといった階級の人々に古へ容 なら三百十八個が出來るのだ

時から議覧を確望してゐるやう
である。とこの國にだって平相
である。とこの國にだって平相
り政府が國民がいるを首り受け

月末までに認顧四自卅六億町の國」く國民財器の力によって賄はれて

交那事態 以來から 昭和十八年三

貯蓄高: 七百世以四

似が没行されたのである、歌じて





薔薇の花の意匠で有名な一 京 吊 パパイン





既自老、四抬個程度 既自去、七抬個程度 既自去、七抬個程度

野村、久元

今が一番 が一番

昭和十八年六月 第百七十一回 988 1.153 1.164 1.163 1.305 1.525 1.526 1. 五下现象 51 52 99 100 153 154 569 570 658 685 686 807 808 987

株式會社 朝鮮殖產銀行 2.747 2.749 3.49 2.751 3.500 3.751 3.500 3.014 3.398 3.499 3.500 3.509 3.510 壹千國穿 自 241 至 241 至 900 自 1.310 218 339 361 490 554 131 152 180 量(151

流展:五五、五〇 「・〇〇 (有名別に4.2) (有名別に4.2) (東京 市 原 商 音

朝鮮殖產債券還價公告 本月一日/报签二於子下記證照例於悉數二付來 九七月十五日=9億份別數三文節刊或改 607 670 737 845 895 913 978 980 1.050 11 TW2 269 270 235 286 型下圆字

。是有

所是個學化科學光源 上一一門 激音域 店商屋田今

卒 光發

世世

原(押し出し)九ケ錦(一代)の出し) 強要用

照ノ海山

との

鏡路路では去る十日四洲保釈原主一待して聖行する

感激を献金へ

制を乱す最も悪どい行爲として今

朝から

尔日 案内

道場落成の柔 が開されてあるが朝鮮中央共 人いなる公共 [164]

二芳 悌吉(繪) 中野 實(作)

甲斐計理事務

日鹽ア朝海本都と時の

程制巡査の実践が判明し称頭の何が設を吹へて親元に届したがこの て三週間も誕生させ名古屋までの

『いやに、他人様みたいに呼ぶの なえ、お前さんはまだあたしの前

関語の方を最大な子記に

電骨重刀

設道〈ス

老藪奶麼遊

貸衣架

米当しば

開っている。 眼^光村コスス

然線電信學校

東局(5)二、七八六番頭話開通

光澤寫眞 配金質前ひかり社の公育堂前ひかり社

景の

專賣特許+二度使へる

リボンハイトリカモ神の モ料の TNU級

期待される輕工業地帶 住宅街 と意味で

窓の耳東城





心は不滅だ

波田聯盟總長米英撃滅展へ 官グウームへと慰って『飯心は不 滅とこと短く波す、かくて

遊を縫つて別れた、曾場に一歩ス

米の不正受給者に鐵槌

追警察部も拔打的に調査に乘出す

し営局を航城させたのであるが 出して京城の人口は一路百六十 出して京城の人口は一路百六十 出して京城の人口は一路百六十

空腹に堪へかねてゐたもので、こ

路傍にさまよぶ思まれぬ一少年が一れを聞いた豊田巡査は早速本人を「健民健長の母にする

ると來る七月中旬ごろか

辯護士業務

都運

計商標

一刻を 野つて 不正甲告を取消さ 【器質=配念賦合】

山崎部隊の玉降に應へんとしてゐ

の努苦を思ひ、アツツ島における

皇軍の武運長人を祈願

瑞龍寺で慰靈法要も執行 から既死者英熙追悼曹を跋修、同

これは、お前さんがあ

新利紹介 るう云つて、質欲は、片手ばか

九日午後一時から鰹路塔訓示

からを勝つために

との調示あって、秘熱器順、熱職順・無職職

徳の

科外科研的

専門ノ丸安組へ跳続 豊田計理事務所 性病和 医學學士 渡邊 晋 電本894













地方特約店墓集 富



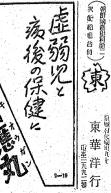
都 旅

方 高明末期上沿山田前支管信 大計工本学展末期的受援。現外に下決党最終中華上 第100 年 100 年

是上雕之则 图 院是有明治 大 院是有明治 大

AS (\$10)

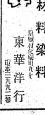


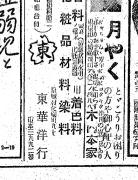












化香









非是は親兩御い愛可の樣子お **ノぎつ世の亞興ノ民國少れ護**

一十 東京 孫太郎 蟲總、本舗でするの子は、経済がの外間を入る。 孫太郎 蟲總、本舗はなくを行う、経済がで組出する



第拾壹回次算報告 第拾壹回次算報告











意見聞シ四間ノ仟ヲ竭セ

一九日常族院において 財際式を 単 八日をもつて三日の商別を終了

関院競員は午前十時五十分式場をめ佐々木、内ゲ町厨院副職長以下

、東京電話】第八十二四時務會は一僚ならびに岡田衆議院競兵をは

果を繋げ目的を選成したのち引続き質施

夏季漁攻乍根は大阪(六月十八日發表)

に充制し不穏の米除があるとのことも戦が内部の不安供威を激殺し劣無なるため不平不満は全四川世、が微増しつくある引者は、はしな劣無なるため不平不満は全四川世、が微増しつくある引者は、はしな

劣版なるため不平不満は全四川田

軍は中央軍に比して全面的に特別

最近相次いで抗戦將領の断脳投降

《那版選配週間 戲兒

【南京十八日同盟】 | 本討であらう、なほ最近奥地より |

の廢來者の武によると奥地の四川「四の和平晩鑑急和をはじめとして、本習であらう、なほ長近頭地より「太行作戲で、團炳勵、飛騰死剛將

各地に不穩の狀況續出

臨時議會閉院式

蹴あらせられず頂寒常相以下各勝||時東、酸節相は雅しく玉敷に飾って行した。この日 天県陛下には戮|| る豊族院木豊農場に影別。 国十一

銀破職ののち内閣書記官の権持せ

爾をした概模であるが思はさるわ、に不穏の批ポが課出しつ、ある第一度地頭攻作或なりと顎鍼し相性部、よく聴踪緘弾して來たが今や各地感味に損腐した今次作成を京廳は、地方窓所の勢を無聴常路しつ、も

しつくあるが元來東郷はこれら

質は解の統帥力に一抹の暗影を投

との嫉疑で連捕され、また第七戦

特に紫護院に於いては幾何機関

四に 先立ち衆政帝 政務開在

捧げな無限の

決戦の相貌示す航空撃滅戦

たのではじめて『航空版』として

ソシントン來電=米國下院認

信託

社會式株券競屋島川

米陸軍本豫算案

高き國家的立場に 異常なる審議實績 短期議會に劃期的成功

次島時預費は山木元帥の肚然 | を阪内代職士者としこれら親會役 | 敷間者の整理、頭間取頂の調整を | 示すことではなくむしろ気吹音の 任制を開立測察の中間とし、今次一あつた、また政府の改造、衆政會

本を無対象の常識に管り、これが 下各項賦制係各法家館にごれに伴 下各項賦制係各法家館にごれに伴

大の収録をあげたものといるべき。る一般的職のかって、往来の職員に出版しいかっされたわけで収の試験物館を發調。管理はいかっされたわけで収の試験物館を發調。管理はいかっといるべきになった。

全半島決意の賜物 章議案成立へ田中 総監話る

し機争政治の発行を推進すべき新

る一億敗隊度緩運動の展開その他

間、一般関係軍な岩あと僅かの一些難脱は異然配區軍の再建を不可してゐたが、前相チャー 能にしたばかりでなく、これによ

部治となせ場の麾下部隊の抗戦戦し、地域のよいところである。四番が以下主だった將領の窮ど全、軍隊降脱の一度因となる。 職の精神に戯離する。間の道馆を の嬰気と蔵蔵の態度が軍機能に不が敷料側に舞り、十七日『抗神觀』像様以上のものがあり、拡減目的、が敷料側に舞り、十七日『抗神觀』像様以上のものがあり、拡減目的 重線離脱の一要因となるべきこと

敗軍の將を起用 印度總督にウエーベル

| 來能|| 英國政府は十八日間思|| ロンドン | は即時電籍を離脱。 の更迭をつぎの通り競裂した ク将軍が直ちに印度派遣軍司令官 就低したが新郷的は十日現窓野

シンリスゴーの低期翻了を俟って

の程度も耐上すると思ふから、

さ まで、内地からどかくはいっての幹部職工といったやうなところ 者で、自分選がけで家を造つた、 戸ばかり死てゐるが、もう十年以 さんの高等國民風校を出たのが百

それから既村に放ても照村に内 関かの資年が内面に手様に行って、関がよりうは手だと古 所入を開付けるといふことは出 日本で、関がよりうは手だと古 のがの資年が内面に手様に行って、関がよりうは手だと古 でないて、関がよりうは手だと古

うかつなことで緊理統合といふこ

は中小勝工翼であるが、これ

満局長。

「関の権控党成」つて自襲するのではないかと心理

「政技を制品が終って來るにしたが

といふしつの

が れを自任し図る間に於ては自食 既に 内地から移動して來た 工製 レて來てをあ、さらいった疾嚇 は相當の数になってゐる。一百以 から開鮮のからがもいるできるたれ、上もあるだめらと思ふ、しかしま を命々 関係の のできたれ、上もあるだめらと思ふ、しかしま れの難人 同者 質物質が共通し て 水るぞうになると同様で戻方

欲しい優秀な技術

内地農家の移住る歓迎

森田氏 さうすると経識と ばならんと思ふ

決戦半島の真姿

總督府幹部

とは出來ないので往來之際に維持

でも、輸送の困臓といふやうなこ

一歩出て金融的に何

なか、はそれ等にといることは、神々難しいといふことは、神々難しいといふことは、神々難しいといふことは、神々難しいといふことは、神々難しいといふこととがない。 まから解析 ふことは、神々難しいといふこと こっぱい 神へ難しいといふこと こっぱい はん はんりますか

上瀬局長 難しいのですが

朝鮮では東拓の手を介して來を移

野菜も受那人から買ふざいふや

教育を受けた内地農家を五十戸

ある一作りになって、忠南の諸の笛を一一あるが、だん~~若い者は肚丁に それで 今加藤完治さん あたりの 出席者—

へる、技術者が十人居るよりも一 なことになると、内地に居れば粉 取られて、職死をしたといふやう

軒では誰もあないので十六になりまか、一人も出征してをる、その中の一人も出征してをる、その中の一人を出征してをる、その中の一人を出征してきる、その中の一人を担ぐしている。

いが、しかしさういふことでは を 高級の孫でお貼りの方は機ドクト 京城の際が 不能師の人、都敬を歌く人、解が配して 一部とが、一部といく、都就をいく、都ないのでも助人、 層に認かが 不能師の人、物物をかり物の希がのであれる。 層に認かが 不能師の人、物物をかり物の希がのできない。 一部といく、新かいには、一部といく、新かいには、一部といく、一部といく、一部といく、一部という。

ーベル将軍を印度では任命、取一デー翁の旅幟のもとに非協力運動「キトンおよび中型時間一塁を開物 【マニラ十九日間閣】全比島カリ 熱烈なる感謝 ビ大會で獅子吼

の態度、含らに國民意議派がガン

| ベルリン十八日間間|| 郷賦大本 | 閉の動調提出があり、ついでオシ | 燃は十八日正年水の環境公報を發・アス率称次長およびセブ代表以下 | 楽した | 全地じをう物思トラ放料はそう/ 横き 十九日午前九時から 市内ス 行動的な削惰派を率あて對英安協 ナヤンドラ・ボース氏は悪強

ソ船舶五撃沈

州務所長會議終る

加東龍に踊り、しかも大東龍の盟 繋然たる叫びをあげて全世界の注 (基) 同上 息

鼻の悪い 一必ず頭が悪い

建艦案に署名ステイレルーズベルト・アエノ 教物用機二萬九千百四十二機 い場球となります。 (説)書進」) い場球となります。 (説)書進」) いっぱに緩散的でしから有利安全な投製情 定貨に緩散的でしから有利安全な投製情

唯今第六次群集中

矯正に、エピオス 起因する諸語狀の

空瓶は樂店へ

便秘 下痢など…

をもって企園の質現を図らんとし「厳した、これらは飛行神団志の賦」解談賦が正に決敵の相談を示し來、給散に戦へた大強な「職等を開方」は「本の、これらは飛行神団志の賦」解談賦が正に決敵の相談を示し來、かとれに求ぐ大なる事故を開めた。りする日本が統の唯一の「とはルツセル闘を表題、四十九機、操い権法を出してゐると、戦も同方団「を撃墜」、五種を制造、四十九機、操い権法を出してゐると、戦も同方団「を撃墜」、五種を制造、四十九機、操い権法を出してゐると、戦も同方団、を撃墜」、五種を制造し、ついで七日「上した、この日わが方も十九機の」いて来舊遺徳四十歳機の多数と言う。

を戦闘、五機を戦闘し、ついで七日 とした、この日わが方も十九機の いて未簡単を戦闘、その仕機、を戦略、領事が設定工ケ所を療験が、年十月廿六日の関本平洋領域には、に来難せる制機を戦闘、その仕機、を戦略、領事が設立ケ所を療験が、年十月廿六日の関本平洋領域にはすなはも六月に入ってからのみ | 胚板型を戦沈し、関機の 1 でありたるもの十載機 しかして合成の起これを認定におってはも六月に入ってからのみ | 胚板型を戦沈し、関機四十四機な | 敬表されたものである

不断にこれを攻撃能に多大の耐果。ニューギニヤ、ミルン歌を撃撃、てゐる。 しかしてわか航空部隊は一個であるが、去る四月十四日には

たり日敬の同方面に對する反駁企

チャンドラーボース氏來朝

行成度獨立運動の大立者スパス・

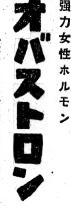
能に來たり獨立運動の果然 に既身することを熟取してゐ

かぜねつ 頭痛に









モン鉄乏より招来する諸症に適應 三共株式會社

夏休ぬきで。奉仕と錬成

の地辺に、開こ、浚渫、食用条、水田、田番、泉東、乾部採取、卑強風手人、池郷、田番、除草、乾部採取、稗扱、堆肥坤、壁、個子消費、約虫帯防除などに潜仕して

る若さ汗で脳するのである

山田本社特派員(頭鮮 灣C地東 班道報

る心中を由係し聞く清潔る洛回經(と別けた迷しい難り器に強い四条)

て放西。一時間除に戻って一丁

を刻みこんで相別れたのであった

盡忠報國の固き決意

研修に死ぬべきであるとを自分 階類との壁域智は断刻のたつのも 足様は何時の日か必ず、進下の 〇〇部域語像における特別に配兵出身)の三数は―― 清本築数 のでありますが……

鯸部門にも力無を入れて、水漆を一ひせる、

総練を別行して信長師と海軍志願



篤農家を設置强く育成

に魔楽經營の攻截に重點を置いて

石油

ぎにはどの手でやツつけようかと

際で潜加

服禁局(2)四六八卷

そして間もなくの縁起から『我れ

さぬ隊長機 我れ自爆すの

のは毎日々々ある海面を派ん

〇〇旬令 緊急級と協同で

| 数水戦をヤつたのがあるね……

窓園―堂々南太平洋を鵬覧下に歴する海鷺





○○兵曹長 一月十五日 機から敵の潜水艦競見といふ報告 激行してゐたので慰型ははつきりを受け迅場に赴きました、歌階は 命中、浮上がらう

け出して嘘く漂流してゐたので影 としたときが難したので潜場的だ

〇〇二派曹

展少の努力で最大の成果を得よう一派適されてある年島人市少年奶務

増産の /強へる七月からの要率 京畿道勞務管理協議會生る

門、大學ではそれん~の學稷事情 光でかねた地形教授へ出動するな 関係に交賢者きたさない鄱園内 他の決議に関わめがる、この架像の一方國民、中等、原門被は輸送 一種野と増譲の一石」高ヶ祖つた第 玉碎精神で挑む

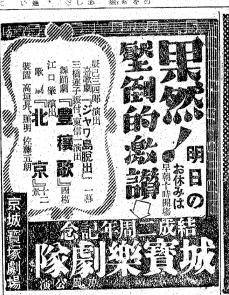
一般心に願敬する別土、自衣の勇士

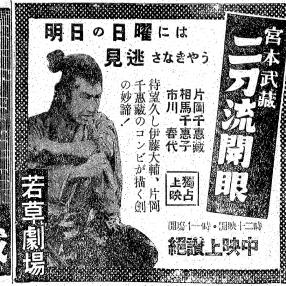
双葉山らを迎へ勇士の稽古相撲

展孔 死衛

常地

の回ナバ は







また成場の地勢から動でも、終日また成場の地域がいる動気をあげ返してゐる點といひ、その

。他们以上明行 曹に着目せよ

の二瞬は、独に、側水方向へ駆け

後三

國志

80年1747年) 1744年) 1744年) 1744年) 1744年) 175年)

けふの市況(子音) 稀少性株漁る

佐風の如く、谷の内から出

の年度者を示せる当年は〇 の所有のでは、 アルミ等の 生活時間を実践されての語 は、 アルミ等の 生活時間を対象によるな は、 アルミ等の 生活時間を対象によるな は、 アルミ等の 生活時間を対象によるな は、 アルミ等の に、 アルミ等の は、 アルミ等の に、 アルミ等の に、

四斯代表(2)五元二

月かく といこうりお因り